

事業所名

スワールキッズ奈良教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

12月

13日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|----|-----|-----|----|-----|---------|----|------------------------|
| 法人（事業所）理念 | <p>「子ども達が自立して生きていく力を育む機会と環境を提供し、夢や目標に向かって挑戦し、人生を楽しめる人になることを目指します。」 子どもたちが「生きる力」「自立」「挑戦する姿勢」を持ち、充実した人生を送るための支援を行います。単なる知識や技術の習得ではなく、社会での自立、夢の実現、そして人生を楽しむ力を包括的に育むことを目標にしています。</p> | | | | | | | | | |
| 支援方針 | <p>【児童発達支援】 ・学習における力の育成 就学前に培われていると理想的な力を育みます。(例)・鉛筆の扱い・自分の名前の読み書き・簡単な数の認識・探索力を養う(視野を広げ、ミスを防ぐ) ・ソーシャルスキルのアップ 心や感情が発展途上なお年頃です。集団生活を心地よく送れるための練習をしていきます。 (例)・道徳的な心の育み・自分や他者の気持ちを知る・怒りのコントロール ・生活力の向上 成長するに従い、「1人でこなす」ことも求められます。小さなことからコツコツと、「できた」を増やします。 (例)・物を結んだり、留めたりする・物を片付ける・手洗い、うがいなどの習慣をつける</p> <p>【放課後等デイサービス】 ・学習における力の育成 主に、読み、書き、計算の力を伸ばす支援を行います。特に、生きる上で必要な学習能力の向上が目的です。 (例)・常用漢字や言葉の読み書き・四則計算・パーセントなど、買い物に必要な計算・目の動きの訓練(ビジョントレーニング) ・ソーシャルスキルのアップ 人との繋がりを構築し、気持ちよく関わるために他者視点を持ち、広い視野で状況を把握します。 (例)・他者の思いや考えを押し量る・場に適した行動や言葉の使用・自身の感情との向き合い方を学ぶ ・生活力の向上 将来、自立をして生活ができるように、保護者様が安心できるようなお子様への成長を支援します。 (例)・忘れ物をなくす・計画や見通しを立てて動く・料理などの経験や知識を得る</p> <p>学習、ソーシャルスキル、生活力… これらを育むことにより、「ポータブルスキル」の獲得を目指します。 ポータブルスキルとは、将来どのような立場や環境でも活かすことができる能力(持ち運び可能な能力)</p> | | | | | | | | | |
| 営業時間 | 平日 | 10時 | 0分 | 分から | 19時 | 0分 | 分まで | 送迎実施の有無 | あり | 送迎場所、時間により送迎有無については応相談 |
| 営業時間 | 土 | 9時 | 0分 | 分から | 18時 | 0分 | 分まで | 送迎実施の有無 | なし | |
| 営業時間 | 長期休暇 | 10時 | 0分 | 分から | 16時 | 0分 | 分まで | 送迎実施の有無 | あり | 送迎場所、時間により送迎有無については応相談 |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・体温測定や口頭での健康状態の確認 ・正しい手洗いやトイレ等の使用方法を学ぶ ・物事の準備や整理、身支度等の意識づけ ・忘れ物をなくしていけるようにご家庭と連携して声掛けを行う | | | | | | | | |

| | | | | |
|-----------|--|--|--|--|
| 本人支援 | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・着席中の姿勢保持等を目指した体幹トレーニング ・工作活動等を通して行う微細運動のトレーニング ・外遊びやデジタル教材を用いた粗大運動のトレーニング ・ビジョントレーニングを通して行う運動能力の強化 | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョントレーニングを通して行う認知機能の強化 ・活動を通し、自分に自信を持つことによってポジティブな自己認知を形成する ・トークン等を用いて行う望ましい行動の強化 ・自分だけでは解決が難しいとき、適切に助けを求めることができる等、幅広い問題解決能力の強化 | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・机上学習やグループワークを通して語彙力を育む ・意見や感想を他者に伝えられる場を用意し、そこで承認される経験を積む ・他者視点で物事を考えることを知り、対人場面で活かせるようサポートする ・自分の感情を言語で表現する力をつけ、不適応行動を減少させる | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や敬語の使い方、場に合わせた立ち振る舞いを学ぶ ・遊びやワークにソーシャルスキルアップの支援を織り交ぜ、楽しみながら社会性を育む ・発達に応じて小集団でのソーシャルスキルトレーニングを行い、様々な意見が聴ける機会を作る ・適切な「頼み方」や「断り方」を学ぶ | | |
| 家族支援 | 保護者の悩みや学習等における相談を臨床心理士や特別支援の経験がある職員が受ける | 移行支援 | 連携会議への出席等、保護者同意のもとでの関係機関との情報共有を行うことにより包括的な支援への参加 | |
| 地域支援・地域連携 | 他の通所支援事業所との交流と情報交換 地域連携会議への参加 | 職員の質の向上 | 職員の各種勉強会、研修への参加 資格取得の支援あり | |
| 主な行事等 | 調理実習 ハロウィン企画(お菓子つかみ取りやダンス等) クリスマスパーティー | | | |